

1 学校運営の中期目標

現状と課題**安心・安全な教育の推進**

小規模の強みを生かし、普段から児童保護者と丁寧なコミュニケーションをとること、関係諸機関を含め情報共有を密にすること、適切な初期対応をすることで児童保護者との信頼関係の構築がすすみ、校内は一定の落ち着いた状況を保ってきた。教職員の姿勢が児童にも伝わり、年々増加傾向にある特性のある児童に対して優しく温かく接する児童も増えてきた。

8年度は全校児童数約50人となり、1・2年生、3・4年生、5・6年生で複式学級体制をとる。教科を学級担任以外の教員が受け持つ専科指導を拡張し、担任以外の教員も多くの児童と接することで、児童理解をすすめたい。

相手に寄り添う姿勢、適切な初期対応についてはこれまでの実践を継承し、より落ち着いた環境づくりをすべての学校生活の基盤とする。なお、校区内はホテルや高層マンションなどの建設が進み、多様な飲食店、交通量が多く、海外からの旅行者の往来も増加しており、安全面で注意が必要である。

未来を切り拓く学力・体力の向上

小規模校の弱みとして、教員との距離が近く「自分の力で何とかする」「自分で考える」時間が不足している。

家庭背景に課題を抱え、家庭学習・自学自習の習慣が定着していない児童が多く、基礎学力の定着は十分ではない。また、家庭で多様な芸術・文化に触れる体験の少ない児童が多い。

授業以外も含めたあらゆる学校生活の場面で、児童が「考え、活躍できる」機会、多様な芸術・文化に触れる機会を増やす必要がある。成功体験を増やし成就感を高めることで将来の夢や希望を持たせたい。

授業は「話を聞く」ことから取り組み、「わかる・楽しい・考える授業」の観点から改善をすすめ、基礎学力および自学自習の習慣の定着を目指した教材の工夫が必要である。

学びを支える教育環境の充実

学習者用端末の活用は順調に進んでいる。授業への効果的な活用は、引き続き研究授業などを通して研究を深めていく。

教員の時間外勤務時間は減少傾向であるが、保護者の状況から時間外の対応の大幅な減少は見込めない。

校務の見直し、行事内容の整理等は年度初めだけでなく、随時検討していくことが必要である。

学校教育目標 自ら考え、学び、未来を切りひらく力を持った 心豊かな子どもの育成
～仲間とつながり、力を合わせる子ども～

中期目標 R8～R11

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。 (R7年度 92.5%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 (R7年度 86.6%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 (R7年度 1%)
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。 (R7年度 1%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意したりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。 (R7年度 1%)
- 時間外勤務時間について、月45時間以上実施する教員をゼロにする。 (R7年度 2人)

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。 (R7年度 92.5%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 (R7年度 86.6%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 (R7年度 1%)
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 (R7年度 1%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 (R7年度 1%)
- 時間外勤務時間について、月45時間以上実施する教員をゼロにする。 (R7年度 2人)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立敷津小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>全教職員で児童の小さな変化も見逃さず共通理解を図る。場合によっては積極的に関係機関と連携を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>毎月1回以上、(内容によっては随時)全教職員での児童の状況を把握する機会を持ち、全教職員で情報共有を行う。</p> <hr/>	
<p>取組内容②【安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>学校の行き帰り、地域での防犯について児童に注意喚起するとともに朝、夕に見守り活動を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>月2回以上、地域と連携した「子ども安全見守りの日」の活動を行う。</p> <hr/>	
<p>取組内容③【豊かな心の育成】</p> <p>豊かな情操をはぐくみ、様々な文化に実際に触れることをねらいに芸術鑑賞行事を実施する。</p> <hr/>	

<p>指標 事後の児童アンケート調査で児童の満足度80%以上にする。 (R7年度 98%)</p>	
<p>取組内容④【豊かな心の育成】 たてわり班活動による児童主体の集会を活発化し、学年・学校行事でも児童が主体的に活躍できる場を設ける。</p>	
<p>指標 月2回以上、児童会主体のたてわり班活動による集会を持つ。</p>	
<p>取組内容⑤【豊かな心の育成】 1. 帰りの会や道徳の時間など互いの良さを伝え合う機会を増やす。また、教職員間でも児童のよいところについて伝え合う機会を設ける。 2. 多様な価値観や文化を持つ子ども同士が互いの違いを認め合い、高め合える機会を設ける。</p>	
<p>指標 1. 各学級で週に1回以上、児童どうしが良いところを伝え合う時間をもつ。また、学年部会などで月に1回以上、児童の良さを伝え合う時間をもつ。 2. 年2回、敷津やさしさ week を設ける。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立敷津小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>児童の現状、学習内容に合わせて、ペアやグループを活用し、児童どうしのつながりを大切に授業を工夫して行う。</p>	
<p>指標</p> <p>校内児童アンケート調査「友だちの考えや意見をじっくり聞いて、自分の考えや意見を深めたり広げたりすることができていますか。」の肯定的な回答の割合を80%以上にする。 (R7年度 93%)</p>	
<p>取組内容②【誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>読解力の育成をめざし、活字に親しみ、読書習慣が身につくよう朝読書や読み聞かせ、図書室を活用した取り組みを毎週1回行う。</p>	
<p>指標</p> <p>校内児童アンケート調査「本を読むことが楽しいですか」の肯定的な回答の割合を80%以上にする。 (R7年度 92%)</p>	
<p>取組内容③【健やかな体の育成】</p> <p>体育科の授業の充実や、休み時間にも積極的に運動場で活動するなど、意欲的に体力作りに取り組む。</p>	

<p>指標</p> <p>年3回以上、全校で休み時間などを使い、体力向上の取り組みを実施する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立敷津小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意したりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>○時間外勤務時間について、月45時間以上実施する教員をゼロにする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <p>児童のスマートフォン・学習者用端末等の利用ルールの必要性やインターネット上に潜む危険性など情報モラルについて、学期に1回以上取り組む。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意したりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <hr/>	
<p>取組内容②【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教員が働きやすい環境を整備していくとともに、会議の精選や学校閉庁日の設定、セット時刻の徹底、休日出勤の振替取得など学校独自で抜本的な改革を進めていく。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>時間外勤務時間について、月45時間以上実施する教員をゼロにする。</p> <hr/>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

